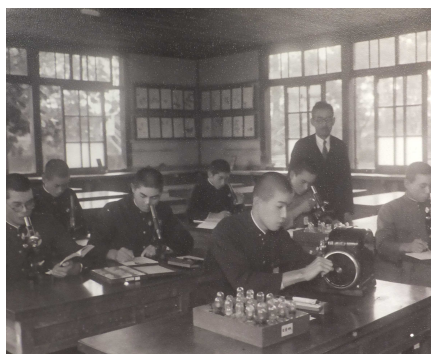




し はん がっ こう

『師範学校』って、なに？

昔の教員養成学校

官立福井師範学校

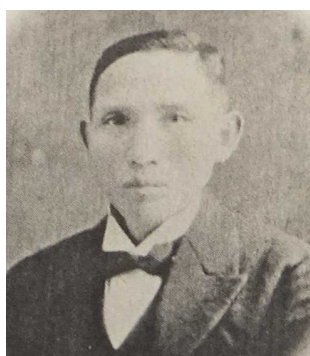
昭和18～26(年) 学生の学習風景

ま
な
び
や



学制の発布後、近代的教育の普及に向けて教員養成(師範教育)が行われるようになりました。福井県では明治六年、明新館に師範学科が併設されたのが始まりで、明治十九年師範学校令の公布により、教員養成の制度が整えられていきました。

明治後期の福井師範学校には、篠原助市、上田三平など、後に福井県の教育に大きな影響を与えた人物が指導にあたっていました。また、大正自由教育を牽引した三好得恵や広瀬均は、ここで師範教育を受けました。昭和18年官立化、昭和26年福井大学に統合。



三好得恵

みよし・とくえ
鯖江市出身

▼三好得恵(一八八〇～一九五九)福井県師範学校卒業後、奈良女高師附属小で分団学習を実践。一九一九(大正八)年三国尋常高等小学校校長に赴任し、児童の個性・能力に応じた自主・自発的な教育を推進し、全国的に注目される。

